第15回TSUMUGU “BITO”定例会

若い世代の伴侶死別者のグリーフ＆ライフサポート

2015年11月6日
die-a-log LABO
朱亀佳那子× 杉本宜昭
diealoglabo@gmail.com
https://www.facebook.com/diealoglabo

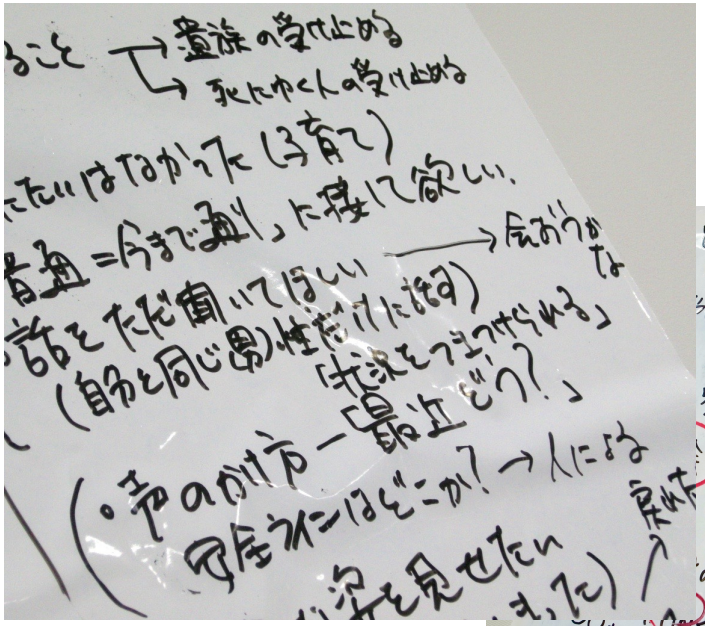
はじめに

die-a-log LABO（ダイアログラボ）
活動紹介

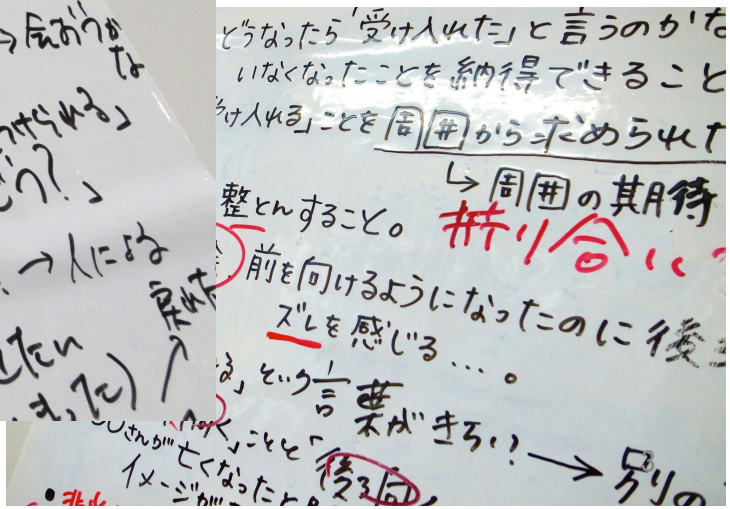
1：die-a-log LABO
　　若い世代の伴侶死別者と非当事者の対話の場
2：die-a-log LABO　U45カフェ部
　　45歳以下(※死別時)の伴侶死別者限定の対話の場

1:若い世代の伴侶死別者×非当事者の
対話の場の試み、ダイアログラボ

die-a-log
LABO



毎回、テーマをもうけ、
若い世代の伴侶死別者
と非当事者が、
同じテーブルで対話



die-a-log LABO過去テーマ（参考）

die-a-log
LABO

vol.0　2014年9月27日
死別して、生きづらさを抱えてしまったとしたら
～ その『生きづらさの正体』について、一緒に考えてみよう！

vol.1　11月24日
負担に感じる支援、心を支える支援って何だろう？
※40代で伴侶と死別した男性からの話題提供

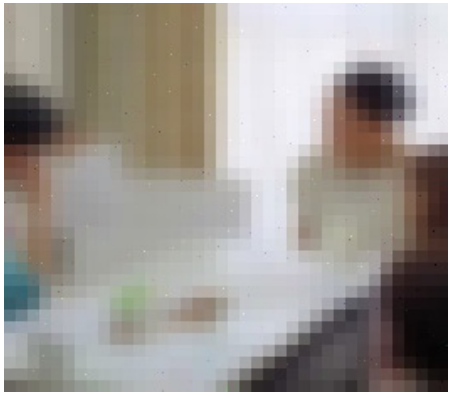
vol.2　2015年3月8日
当事者が求める支援と周囲がしたい支援にギャップはある？
※40代の医師からの話題提供

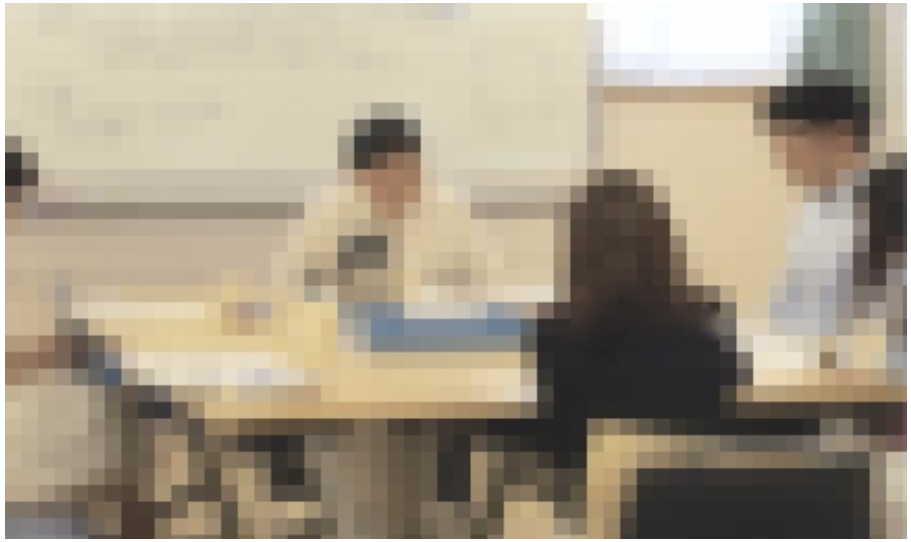
vol.3　6月28日
当事者が求める支援と周囲がしたい支援にギャップはある？2
死を受け入れるってどういうこと？
※伴侶死別者にインタビュー調査をした大学生からの話題提供

特別編（in ケアフェス2015@上智大学）　9月27日
介護のその先にみえるもの。「光」を探して…
介護の中で将来を思うときー死別から介護を振り返るとき

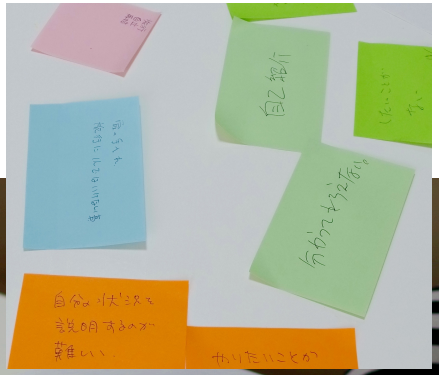
2:　45歳以下の
伴侶死別者限定の
対話の場
アンダー45カフェ部

die-a-log LABO
U45
limited
CAFE





同世代の当事者が集い、
少人数で対話。
ワーク等も実施。



U45カフェ部　過去テーマ（参考）

die-a-log LABO
U45 limited CAFE

vol.1　2014年10月21日
誰にも分からないと思っている気持ちは、
本当に誰にも分からない？

vol.2　12月29日
うれしかった贈り物、わすれられない贈り物

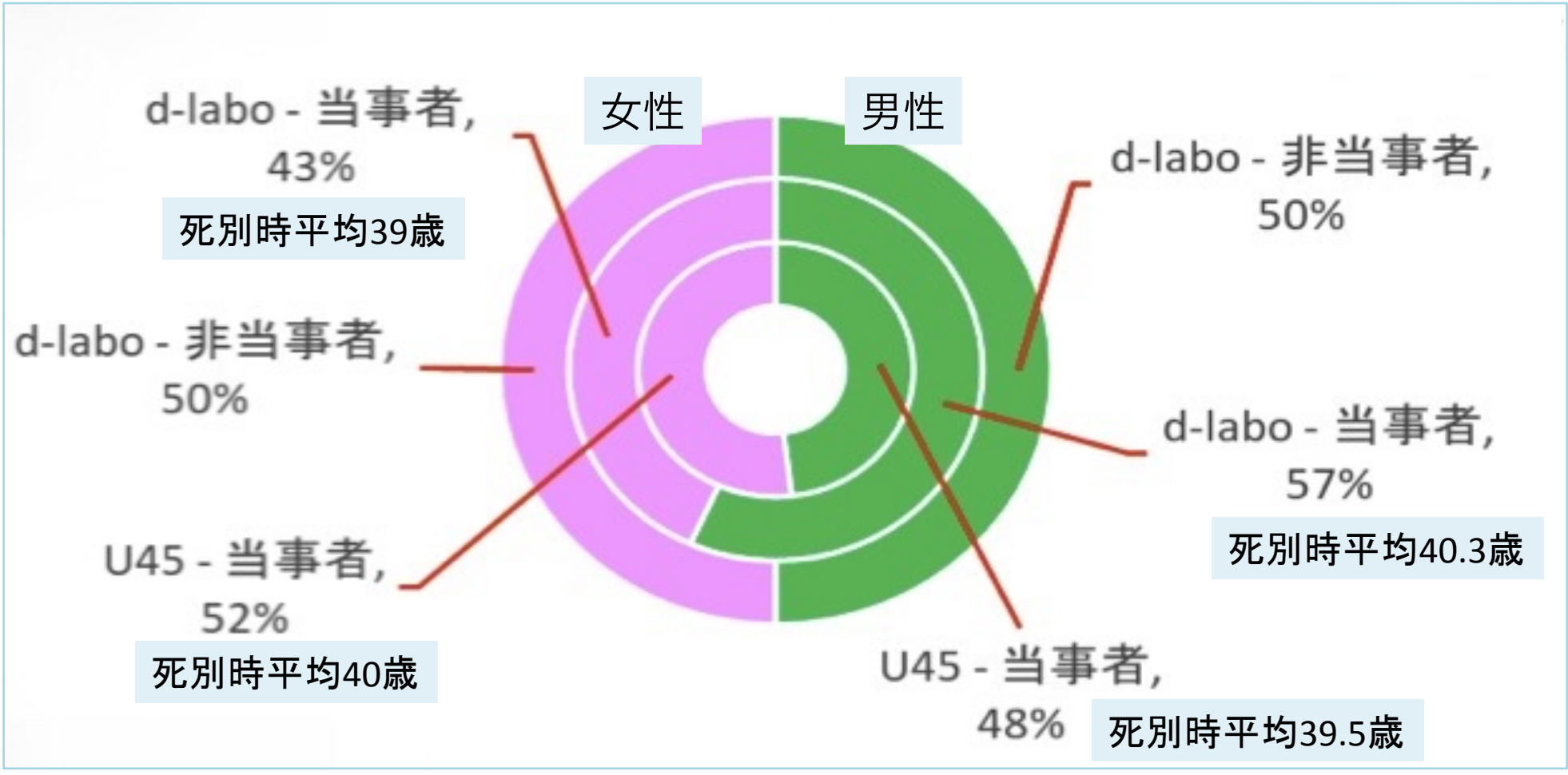
vol.3　2015年2月11日
死別で変わったこと、変わらないこと

vol.4　4月29日
伴侶の死、自分が死別したことを伝えている？
社会との「付き合い方」を考えてみよう

vol.5　7月26日
～したいけれど、できなくて困っている・悩んでいること

die-a-log LABO参加者の構成

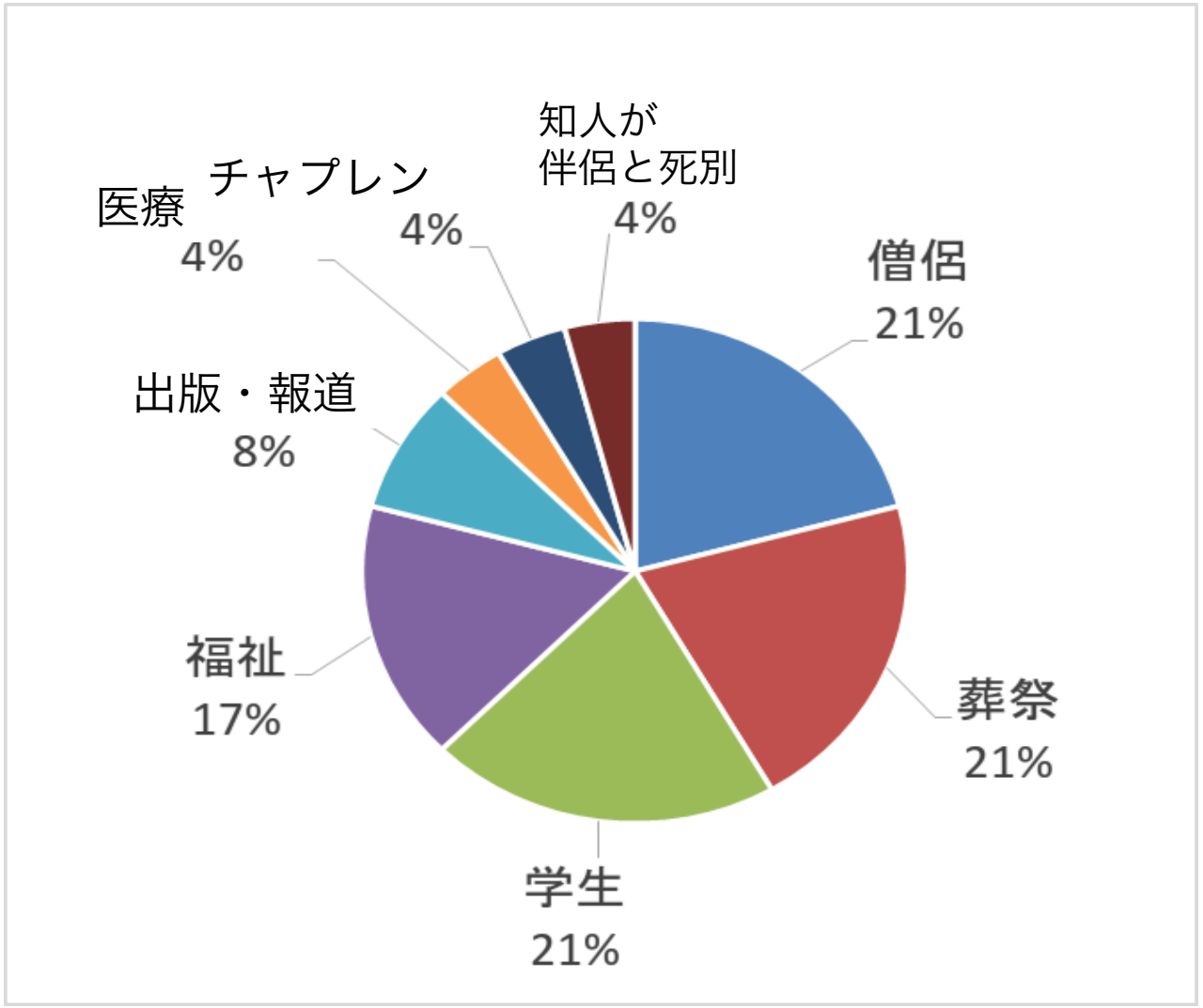
参加者のべ112人
・非当事者48人（実数33）
・当事者64人（実数28）



2014年9月～2015年10月の集計
（die-a-log LABO、U45カフェ部各5回計10回開催）

死別当事者全体：死別時 平均39.8歳
子どもあり29%・子どもなし71%

die-a-log LABO参加の非当事者の職業・属性

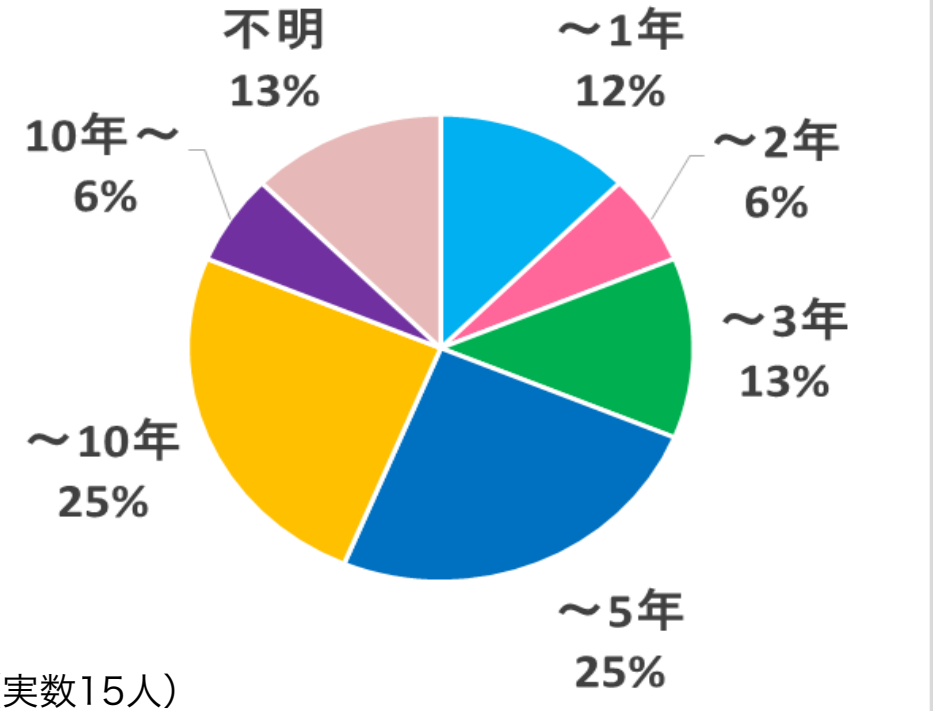


(実数33)

2014年9月～2015年10月の集計

die-a-log LABO参加の当事者・初回参加時の死別からの経過時間

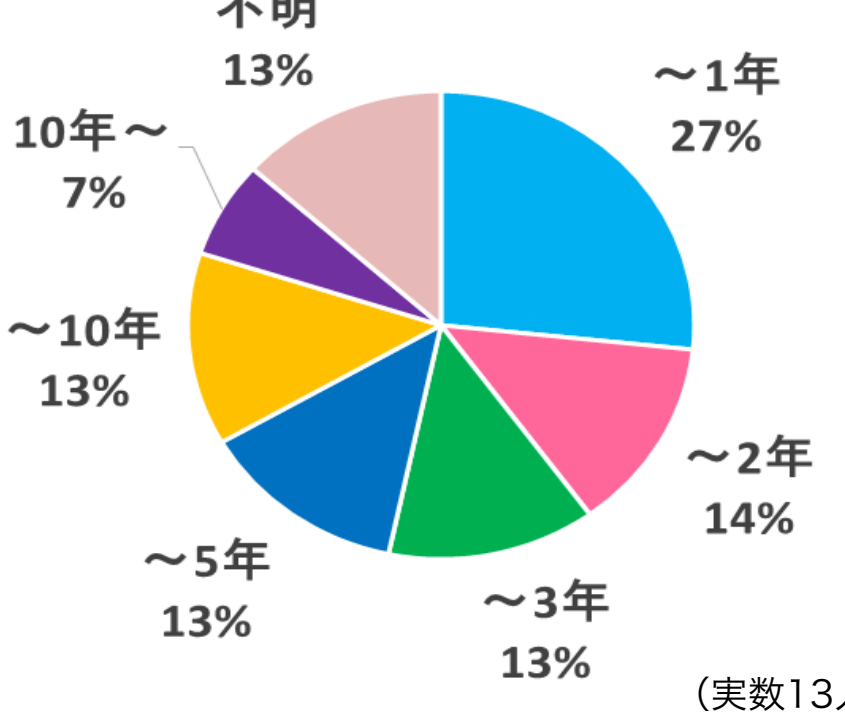
die-a-log LABO（非当事者との対話の場）



（実数15人）

子どもあり20%、子どもなし80%

U45カフェ部（当事者限定の場）



（実数13人）

子どもあり38%、子どもなし62%

2014年9月～2015年10月の集計

本日の話題提供の流れ

１　なぜ立ち上げたか

２　当事者は、どのような動機で参加しているか

３　活動のなかで感じたこと

ご清聴ありがとうございました。
https://www.facebook.com/diealoglabo